

ノリ養殖情報 第4号

平成26年10月8日

福岡県水産海洋技術センター有明海研究所

本日の組合長会で採苗は、「10月15日午前3時以降の出港」と5日間延期されました。急きょカキ殻の熟度を抑制する必要がありますので、以下の方法を参考にカキ殻の管理を行ってください。

1 カキ殻の抑制方法

以下の方法で、水温が下がらないようにし、カキ殻から放出するタネの量を抑えてください。

- ・培養小屋の窓・戸を閉め、風が入らないようにする。
- ・水槽に透明のビニール等をかぶせ、水温低下を防ぐ。
ただし、水槽の水温が下がっている場合は22~23℃を上限に加温する。
- ・培養小屋を明るめにする。

平面で800ルクス、垂下で1,500ルクス程度。

カキ殻の色がさめても、タネは全部出てしまうわけではなく、残っています。残ったタネの量と熟度を検鏡で確認し、採苗に臨んでください。

2 行わない方が良い抑制方法

以下の方法を行うと熟度が進みにくくなりますので、注意してください。

- ・ヒーター等を使用して、水温を上げすぎること（24℃以上）。
- ・長期間の暗黒処理（殻を真っ暗の状態にする方法）

3 10月11日(土)～13日(祝日)の検鏡時間

9時～15時まで研究所でカキ殻検鏡を行います。